

## 念願の八重山へ行ってきました

退職記念旅行として計画していた石垣島、西表島、由布島、竹富島へ行ってきました。

6月に入ってから行こうと旅行社をあたっていたのですが、近畿日本ツーリスト、JTB共に催行人数が集まらず6月は無理と思っていたところ、名鉄観光で2名より催行というコースを見つけ、6日～8日の2泊3日で出発しました。

名古屋から直行便で、2時間30分で石垣島に到着。ローカル空港ですから、タラップを降りて歩いて到着カウンターまで行きます。第一印象は暑い!! オーリートリー(ようこそ)石垣島へという文字が飛び込んできます。ビルを出ると南国特有の花々が咲きみだれ、亜熱帯の南国にきたことを実感します。

### 一日目のコース

空港 -- バンナ展望台 -- ホテル

### 二日目のコース

石垣港 -- 西表島へ -- マングローブの仲間川遊覧 -- 水牛車で由布島へ -- 島内の散策 -- 竹富島へ -- 島内を水牛車で観光 -- 石垣島へ -- ホテル

### 三日目のコース

ホテル -- タクシーで島内観光 -- 空港 -- 名古屋

## 一日目と三日目

### 石垣島の観光

#### 一日目と三日目の石垣島観光の印象

石垣島では水稻栽培、それも二期作が行われている。一部では三期作もあるとか、とっくに稲刈りは済んでいた。

主はサトウキビとタバコの栽培、あとはパイナップルがほとんどで、それ以外は山というよりジャングルみたい。

泡盛はタイから伝わったと聞いて以外だった、そのため原料はタイ米を使っており製法の特徴は、蒸留して作る。

川平湾ではグラスボートに乗って、これが南国の海かと目を見張る美しいサンゴ、色とりどりの魚を見ることができた。

八重山やしの群落と、アテネオリンピックに参加するサッカー日本チームが合宿をする“サッカーパークあかんま”を見て観光を終えました。



初めて見た石垣島



バナナ展望台からみた市街



海岸はサンゴのかけらで白くなっている



さとうきびの畑



川平湾グラスボート乗り場で 後ろはアダンの木

## 二日目

### 西表島はジャングル!!

仲間川のマングローブの林を見ながら、船で2kmほどさかのぼる。まさにジャングルだ!! 樹齢400年というサキシマスオウノキを見学する、根っこが板のようになって地上に出ている。昔は船のかじとして使ったそう。すごい木があるものだ、今は特別に保護されているという。もうひとつは、イリオモテヤマネコだがこちらは写真しか見ることはできない。せめて剥製は見られないものかと思った。道路のあちこちに、イリオモテヤマネコ飛び出し注意!!の看板だけが目に付く。

### 由布島は植物園!!

水牛車に乗ってのんびりと、400mの浅瀬を渡って由布島に着く。ここは島そのものが植物園だ!!赤や黄色の花々が咲き、やしの木ガジュマルなどの珍しい木々がうっそうと茂る。そんな小道をぬければ、真っ青な海が広がっている!!ほんとに、八重山にきたんだと実感する。コバルトブルーといわれる海が、どこまでも広がりその美しさは言葉に言い表せない。目の前に小浜島が横たわっている、のどかである。しかし、暑い暑い!!そのうえむしむしするので、木陰へ入る。

## 竹富島の家並みはホッとする!!

星の砂で有名だ、でも、砂ではなく虫なんだそうだ。ここも真っ青な海が広がっている。しかし、生活の基盤である水は石垣島から水道を引いているのだそうだ。水牛車で島の集落を見て回る、なんとどのどかなことか!!観光とはいえ内地では味わえない。ここでは特別保護指定区域となっており、家を建てる、直すにもコンクリートはだめで昔ながらの家並みを保存している。新築では400万円の補助があるそうだ。ところで、この集落は家の周りを石を積んだ塀でかこっているがセメントは使わず積んであるだけとか、台風でも大丈夫なのかと聞いても大丈夫という返事。びっくりだ。家並みの写真を撮るつもりだったのに、非情にもバッテリー欠 石垣市まで行かないと売ってないとか、そりゃそうだろう。



西表島の玄関口 大原港



マングローブに覆われた仲間川



サキシマスオウノキ



由布島



由布島のガジュマルとヤシ



400m もの浅瀬を行き来する水牛車



美しい海の川平湾